



望洋荘便り



第 62 号
平成21年
1 月 発行

謹んで新春の
およろこびを申し上げます

平成二十一年元旦

私たちが出来る「与える」喜びとは

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 渥



「口は禍の門」という言葉があります。同様に「人の口に戸は立てられない」といわれるように、ひとたび自分の口から出た言葉は、もはや誰にも止めることができません。正直な人ほど、自分の思いをそのままに伝えてしまうことがあり、人から誤解されたり、反発されたりする事が多くあります。

言葉というものは、その人の置かれている立場が高いほど、その重さが問われるものです。自分の発する言葉に、ハツとすることはありませんか。「人のふり見て我がふり直せ」と、子供のころに教えられたことを思い出して下さい。

ところで、私たちは、自分の欲望や周囲への不満ばかりを主張することが強く、他人の話を「聞いてあげる」、或いは「与える」こと、すなわち多くの方々に喜んでもらう「感動」を提供することを忘れてはいないでしょうか！

望洋荘入居者動向表

現在までの入居者数	総 数	退 所 者 (死 亡) (入院・移転)	入 居 中
入 居 者 数	153	75 (48) (27)	78

性 別	男 性	女 性	合 計
入 居 者 数	32	121	153

入居前の生活形態	家 庭	介護施設	医療機関	合 計
入 居 者 数	61	33	59	153

入 所 時 年 齢	70歳未満	70～75	76～79	80～85	86～89	90～95	96～99	100歳以上	合 計
入 居 者 数	3	13	18	56	29	30	4	0	153

(最高年齢98歳・最年少者63歳 平均84.0歳)

現在入居者の年齢	70歳未満	70～75	76～79	80～85	86～89	90～95	96～99	100歳以上	合 計
入 居 者 数	2	2	6	23	16	24	3	2	78

(最高年齢103歳・最年少者68歳 平均86.9歳)

望洋荘開設六年目を迎え、これまでの入居者の
方々の動向を上表にまとめました。
平成 20 年 12 月 31 日現在

仏教の教えに、「無財の七施」というものがあります。

- 一、眼施 (げんせ) ……優しい思いやりの眼を向ける。
- 二、和顔悦色施 (わげんえつじきせ) ……嫌な顔をせず、穏やかな楽しい顔つきをする。
- 三、言辞施 (げんじせ) ……優しい思いやりに満ちた言葉をかける。
- 四、身施 (しんせ) ……立っていつて、迎えたり、挨拶したりしてあげる。
- 五、心施 (しんせ) ……他人様への思いやりと気遣いの心をほどこす。
- 六、床座施 (しょうざせ) ……座席を与える。
- 七、房舎施 (ぼうしゃせ) ……家に招じいれて歓待する。

これらは、お金や財産がなくても、誰もがいつでもできる行動(布施の行)です。人に対する優しさや慈しみがあふれる言葉です。私たちの職場環境を良好にするためにも、感動を「与える」実践に取り組んで下さい。

「新年会」 豊間ユニット

一月一〇日（土）正午より、豊間ユニットにて新年会を開催致しました。数日前より準備にかかり、出来るかぎり手作り料理にこだわりました。入居者様やご家族様からも家庭的で美味しかったと大変好評でした。また、多くのご家族の皆様に参加をいただき、みんなで囲んだ食卓での食事は、普段とは違ってとっても美味しかった様で、皆様ちよつと食べ過ぎの様子でした。

「新年会」 勿来ユニット

一月十一日（日）午前十一時より、勿来ユニットにて新年会を開催致しました。新年会には多くのご家族様にご参加いただき、和気あいあいの雰囲気に入居者の皆様もすごく喜ばれていました。家族とともに食べる食事は格別で、お寿司類張る顔にも笑顔が見られました。また余興として「ビンゴゲーム」が行われ、それぞれ豪華景品をゲットするなど、大満足の一日でした。

「新年会」 薄磯ユニット

一月十八日（日）午前十一時より、多目的ホールにて新年会を開催致しました。既に二つユニットが新年会を開催しており、そのユニットより色々情報収集しての、良いところ取りの新年会でした。多くのご家族様に参加を頂きましたが、多目的ホールを会場にした事により、ゆったりとした雰囲気でご家族様と楽しいひと時を過ごせる事ができました。最後に、昨年一年間の入居者様の写真をまとめたスライドショーでは、施設での生活の様子がわかると大好評でした。



「噺家さんからの年賀状」其の③

いわき寄席にご出演された落語家さんから、理事長が毎年噺家さんらしい賀状をいただいています。その中からいくつかご紹介させていただきます。

五街道 雲助 師匠



タベ格子で

妓夫太郎・遊女屋の客引き

勤めた牛が

朝はのい

馬になる

遊興費・飲食費の不足額を取り立てに 客の家までついていく者

不景気な世の中 せめて勘定など気にせず 遊びたいものです。

平成二十一年 元旦

春風亭 一朝 師匠



あけまして おめでとう

本年も宜しく お願い申し上げます

立川 ぜん馬 師匠



賀正

平成二十一年 元旦

賀正

還暦を機に酒をミルクに変えて3ヶ月 いつまで続くことやら... 今年もよろしく お願い致します

平成二十一年 元旦

春風亭 正朝 師匠



迎春

よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。 昨年のご厚情を深く感謝いたしますとともに 本年も、より一層の最良お引き立てをお願い申し上げます。

最近Jリーグで落語会を やらせていただいております

春風亭 正朝

よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。 昨年のご厚情を深く感謝いたしますとともに 本年も、より一層の最良お引き立てをお願い申し上げます。 平成二十一年 元旦 最近Jリーグで落語会をやらせていただ いています。

三遊亭 ちな喜 師匠



謹賀新年

落語会又

謹賀新年

よろしく お願い申し上げます。 平成二十一年 元旦

新年を迎えて 「新年の抱負」

今年の目標

——「ハイ」の明るい返事で受けましょう——



介護老人福祉施設 望洋荘
施設長 須田 美保子

新年 おめでとうございます。

お正月のしめ飾りや鏡餅に添えられている「橙（だいだい）」はこの時期には欠かせない果実です。橙は、日本には中国から渡来しましたが、インドからヒマラヤにかけてが原産です。

夏の初めに白い花が咲き、秋には緑色の実を結びます。そして冬になると橙色に熟します。しかし、この実を採らずにそのままにしておくと、木から落ちることなく一〜三年は枝に付いています、そればかりでなく、橙色だった実が翌年にはまた緑色に戻ります。

そして冬になると、今年の新しい実と、一年前の実、二年前の実、三年前の実とが一緒に色づきます。世代の違う実が一本の木に同時に熟すことから、「代々」と呼ばれたのでしょうか。自分一代だけの成功を望むのではなく、祖父母や両親、子供、孫たち皆の幸せを願う象徴として、橙は日本人に愛されてきたのでしょうか。

私たちの家である「望洋荘」にも橙と同じように、祖父母や両親が住み、その子や孫が訪れ明るい賑わいを見せています。職員にも橙色の様な明るい「ハイ」の返事が飛び交う場であって欲しいと願っています。

——家族代々の幸せを願い、明るい「ハイ」の返事で過ごしましょう——



二月の行事予定

二月三日（火）

「豆まき」午後十二時三十分〜

【二月のお誕生会予定】

二月一日（日）	薄磯 小野 マサ 様	（九三歳）誕生会
二月一〇日（土）	四倉 中村 照子 様	（八七歳）誕生会
二月一〇日（土）	薄磯 丹野 庄次郎 様	（八四歳）誕生会
二月一五日（日）	永崎 熊田 ミヤ子 様	（八四歳）誕生会
二月一八日（水）	四倉 坂本 まつ 様	（八六歳）誕生会
二月二二日（土）	四倉 和田 美智子 様	（七一歳）誕生会
二月二三日（日）	勿来 太田 マツヨ 様	（九一歳）誕生会
二月二五日（水）	豊間 鈴木 トクヨ 様	（九三歳）誕生会
二月二六日（木）	豊間 鎌田 ミツ子 様	（九二歳）誕生会
二月二七日（金）	勿来 佐川 芳子 様	（八八歳）誕生会
二月二八日（土）	四倉 賀澤 英子 様	（八六歳）誕生会

編集後記

『望洋荘』便り

平成二十一年一月三十一日発行

発行所 いわき市

社会福祉法人 平豊間字合磯三十九番地

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373

FAX (0246) 55-7255